

活動ニュース

25 年サマーツアーレポート

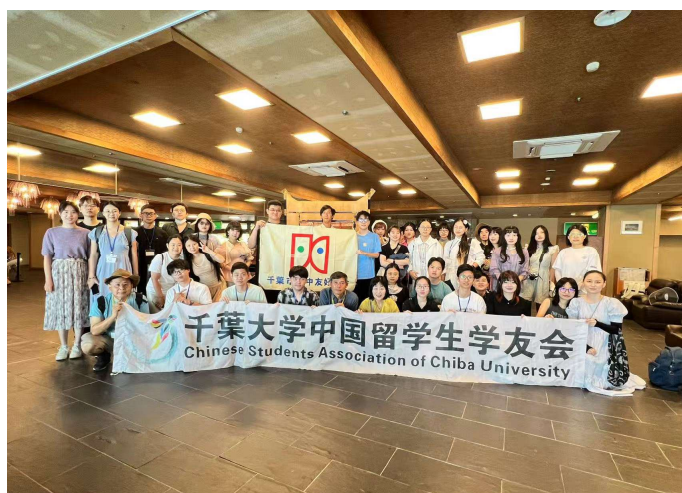
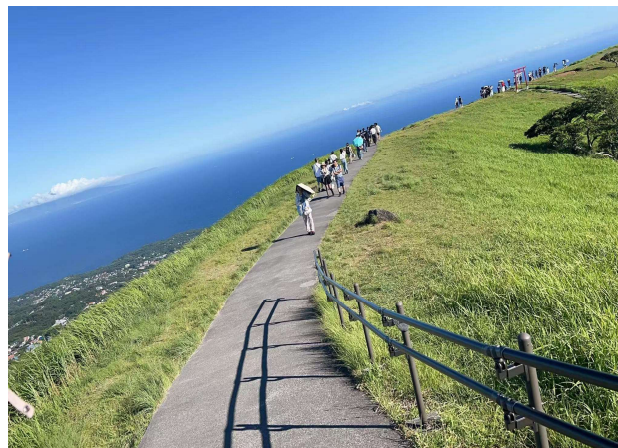
7月26日～27日の一泊二日で恒例のサマーツアーを実施しました。千葉市日中友好協会と千葉大学中国人留学生学友会の共催です。

今年は伊豆に向けて日本の社会人4人、中国人留学生35人、合計39人が貸し切りバスで千葉大学を出発しました。

初日は朝8時予定通り千葉大学を出発しました。途中新宿都庁前で6人をピックアップして、渋滞もありましたが熱海駅周辺での昼食。その後、大室山ヘリフトで上がり絶景を楽しみました。ホテルチェックイン後、留学生のギター演奏やゲームに興じ夕食は「食べ放題飲み放題」。夜は徒歩15分くらいの浜辺でラッキーにも熱海花火大会を間近で見ることができました。

2日目は城ヶ崎海岸駐車場で西瓜割で盛り上がり、吊り橋での写真撮影など、海と林のコントラストに感激した留学生も多くいました。その後、小田原城見学をして今回のツアーは終わりました。留学生から楽しかったとの声、続出。個人的な感想ですが、ここ20年で最も楽しい旅行となりました。

千葉市日中友好協会 越智 優



江蘇省人民対外友好協会訪問団が来葉

熊谷俊人千葉県知事、神谷俊一千葉市長と会見



中国江蘇省人民対外友好協会訪問団(団長銭文華副会長)が、江蘇省外事弁 6 名、同省塩城市外事弁 3 名の計 9 名で来葉しました。一行は、千葉県庁で熊谷知事を表敬し和やかに懇談、続いて県議会日中友好議員連盟のメンバーとも交流しました。その後千葉市役所に向かい、神谷俊一市長を訪問し、三須千葉市議会友好議員連盟会長他関係議員を含めて、千葉市友好都市蘇州市呉江区との交流や今後の友好交流活動の活発化について懇談しました。

千葉県日中友好協会から石橋会長、小野崎理事長、通訳を兼ね趙詩蔓理事等が参加し、千葉市日中友好協会からは川村会長、布施顧問、河野事務局長が参加しました。



千葉県議会 玄関で記念写真



夕方からの歓迎懇親会は、スペイン料理で盛り上がる

驚異的な中国の科学研究活動

文部科学省が 8 月 8 日公表した「科学技術指標 2025」によれば、注目度の高い論文数の国別順位では、1 位中国 73,315、2 位米国 32,781、3 位英国 8396 以下インド、ドイツ、イタリア・・・13 位日本となっている。ダントツの中国研究活動の実態を見ても、巷で流されている「中国崩壊論」「停滞論」に、私たちは安易に組するわけにはいかない。米中の政治・軍事・経済での対立が深まっているが、私たちは、より冷静に客観的に情勢を見極め、着実な民間日中友好交流活動を推進することが国益にもかなうことだと考えます。